地域と共に組織を活性化

「秋の座談会」に1102人が出席

JAはだのは9月30日（月）から10月10日（木）まで、市内82会場で「秋の座談会」を開きました。

座談会には、全体で1102人の組合員が出席し、610件の意見・要望が寄せられました。主には、鳥獣被害への対策や台風被害への対応などについて多くの質問および意見が寄せられました。いただいた意見・要望は、担当部署や担当部会で検討を重ね、さらに理事会で協議しました。ここに主なものを報告します。全ての意見・要望への対応は、各支所・支店にある閲覧用冊子をご覧ください。

組合員の皆さまから寄せられた意見・要望を今後のJAはだのの運営に反映させ、さらに発展するように役立てていきます。

意見＝組合員からの意見・要望です

対応＝意見・要望に対するJAの対応です

北町生産組合の座談会（南地区・平沢児童館）

JAはだのの

発行
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）

〒257-0015
秦野市平沢477
電話0463(81)7711㈹
発行責任者 宮永 均

目　次

1面…営農・はだの都市農業支援センター関係
2面…店舗販売・経済・生産資材・葬祭関係
3面…信用・融資・共済・改革推進・生活福祉関係
4面…組織教育・企画・総務・監査・㈱協同コンサルトはだの関係

秋の座談会出席状況
2019年9月30日（月）～10月10日（木）

地区名	出席人数（うち女性）	意見・要望
大根	139（33）	86
本町	100（39）	70
東	147（33）	88
南	153（41）	90
北	130（45）	99
西	263（79）	135
上	106（38）	39
本所	64（30）	3
合計	1102（338）	610

営農

学校給食用米の確保へ

意見 米の作柄はどうか。（大根・東・上）

対応 神奈川県の10月15日現在の作況指数は95で、やや不良となります。94以下を不良としているため、かなり厳しい状況です。収量は例年の8割程度という生産者の声を多く聞いています。

原因は、生育期である7月の低温と日照不足により、十分な分げつ数が得られなかったためだと考えられます。

意見 学校給食に使う米の不足原因は何か。学校給食で使用している米はすべて1等なのか。（大根・東・西・上）

対応 学校給食用の米は年間約3500t必要とされており、半分以上を県産米で確保したいという意向があります。しかし、県下のJAを通じたJA全農かながわへの出荷量では、需要量を賄えていません。これは、生産者の減少や縁故米の増加などにより、JAへの出荷量が減少していることが原因です。このため、学校給食用米確保運動を展開し、集荷量の確保に努めています。また、学校給食で使用される米は1等および2等の「はるみ」「さとじまん」「キヌヒカリ」「コシヒカリ」の主要4銘柄です。

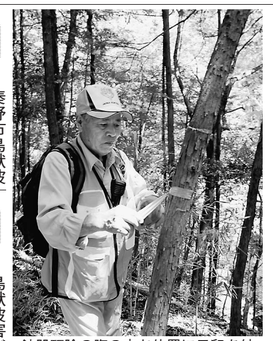
生産者が持ち寄った米を1袋ずつ検査

意見 台風15号での農作物の被害状況はどうか。また、被害の調査は行っているのか。（大根・東・南）

対応 強風による園芸施設への被害がありました。秦野市内を4班体制で巡回し、早期に被害の実態把握に努めました。秦野市と連携し、被害を受けた方への助成の案内なども行っています。

はだの都市農業支援センター

実施隊を設置して獣害軽減へ



銃器駆除の際の立ち位置に目印を付ける隊員

意見 害対策実施隊が設置されたが、どこの管轄で、どのような構成メンバーが何人所属しているのか。また、役割や活動状況などを聞かせてほしい。（大根・本町・東・北・西・上）

対応 害対策実施隊は、はだの都市農業支援センターの市職員（6人）の他、猟友会員（50人）を主な隊員として、2019年6月1日付で組織しました。

鳥獣被害を軽減させることを目的に、農業者や生産組合が設置するわなで捕獲された鹿・イノシシの止め刺しや、防護ネットに掛かった獣類の埋却処理などに対応する他、銃器による駆除に取り組んでいます。

意見 害対策実施隊が設置されたが、どのような構成メンバーが何人所属しているのか。また、役割や活動状況などを聞かせてほしい。（大根・本町・東・北・西・上）

対応 害対策実施隊は、はだの都市農業支援センターの市職員（6人）の他、猟友会員（50人）を主な隊員として、2019年6月1日付で組織しました。

鳥獣被害を軽減させることを目的に、農業者や生産組合が設置するわなで捕獲された鹿・イノシシの止め刺しや、防護ネットに掛かった獣類の埋却処理などに対応する他、銃器による駆除に取り組んでいます。

意見 鳥獣被害が年々深刻化する中で、今年度から秦野市鳥獣被害対策実施隊が設置されたと聞いた。活動内容や捕獲実績を年2回程度は農業者に報告してほしい。また、各地区に設置されている防護ネットを点検し、獣類の侵入を防ぐことも必要ではないか。（大根・東・北・西・上）

対応 害対策実施隊の活動については、秦野市有害鳥獣対策協議会で報告する予定ですが、ご理解・ご協力が得られるように、活動状況の報告方法を検討していきます。地域に設置している防護ネットの点検についても、引き続き生産組合など地域での対応をお願いします。

意見 鳥獣被害対策として、他市では報奨金制度を利用した捕獲頭数の拡大に積極的に取り組んでいる。秦野市でも報奨金などを活用して捕獲駆除への関心が高まるような対策を行ってもらいたい。（大根・東・西）

対応 秦野市では報奨金制度の導入はしていません。今後は他市町村の事例も参考にしながら検討します。

意見 故は、どのような状況で起きているのか。また、JAでは農作業の安全対策をどのように行っているのか。（東）

対応 労災認定事故は6件で、主な内容は草刈り機使用中の事故でした。農作業安全対策として、春・秋に農作業安全運動を展開し、本所・各支所・支店に農作業安全標語看板を設置しました。秋の座談会では農作業安全啓発冊子を配布しました。また、JAグリーンでは、農作業安全用具のキャンペーンを実施し、農機センターでは、農業機械整備講習会や農機安全取扱講習会を開いています。

組織教育

特定生産緑地制度で農地保全を

意見 映画「二宮金次郎」の上映会は評判が良かった。（大根・東・南・北・西・上）

対応 映画「二宮金次郎」上映会には1216人にご来場いただき、協同組合運動の先駆けとして報徳思想を唱えた二宮金次郎の功績を再確認していただきました。また上映前には、報徳二宮神社の宮司による「報徳思想と報徳仕法を現代に生かす」と題した講演会も開催し、協同組合運動への理解促進を図りました。

意見 JAのインスタグラムは、いつから開設しているのか。また、登録方法を教えてほしい。（西）

対応 昨年から若い世代の方に秦野の農業に関心を持っていただきたいとの思いから公式インスタグラムを開設し、定期的な投稿に努めています。インスタグラムから「JAはだの」と検索して登録することができます。また、機関紙などに掲載しているQRコードを読み取っていただいて登録することも可能です。

インスタグラムのQRコード

多くの地域住民が来場した「二宮金次郎」上映会

意見 座談会を開催しても、組合員の参加が少ない。参加を促す良い方法はあるか。（南・西）

対応 開催時間の調整など、より多くの組合員が出席できるような配慮をお願いします。生産組合活動活性化助成基準を活用した健康教室（JA健康寿命100歳プロジェクト）との併用開催などもご検討ください。なお、平日に都合がつかない場合は、土曜日に本所でも開催していますので、出席していただければと思います。

意見 生産緑地法について、改正の概要を教えてほしい。研修会に参加したが、講演会よりもっと詳しい内容で、再度の説明会の開催をお願いしたい。また、個別の相談はできるのか。（大根・本町・東・南・西）

対応 2017年6月に生産緑地法が改正され、生産緑地を継続する仕組みとして「特定生産緑地制度」が創設されました。特定生産緑地とは、指定から30年が経過しようとしている生産緑地について、10年間の延長ができる制度です。また、10年経過後も繰り返し10年間の延長が可能です。なお、特定生産緑地の指定を受け、引き続き農地を管理することにより、税制上の優遇措置が継続されます。

それに加え、都市農地貸借法が制定され、生産緑地の貸借が安心して行える仕組みもスタートしています。相続税納税猶予を受けたまま農地を貸すこともでき、所有者が高齢になり生産緑地の管理が困難になっても、貸借することで継続して管理できるようにして、生産緑地の機能を守っていくことを目指したものです。これらを受け、JAでは都市農業振興と農地保全に向けて改正された生産緑地法に関する研修会を開催し、秦野市から生産緑地の現状と今後の手続きなどについて説明いただきました。今後も秦野市と連携し、取り組みを進めていきます。

意見 都市計画税について、平塚市・伊勢原市・厚木市・小田原市などが0・2%であるのに対し、秦野市は0・25%と高いので、近隣並みの税率となるよう、行政に働き掛けてほしい。（南）

対応 農林業施策要望などで継続的に働き掛けを行っています。

総務

JAビルを有効活用

意見 正組合員数が前年と比べて大きく減少しているが、要因は何か。（大根）

対応 正組合員の高齢化による死亡脱退が主な減少要因です。また、亡くなった時点で脱退とする法定脱退手続きの徹底について行政指導があり、今年度はその整備を進めたため、昨年より大きく減少しました。

意見 JAは正組合員と准組合員の差は設けているのか。（大根）

対応 農協法に基づく総会での議決権や、役員の選挙権は正組合員のみとなりますが、各事業利用や組合員サービスについては同一です。

秦野駅前農協ビルにデイリーヤマザキがオープン

意見 特産センター店の跡は何になるのか。秦野駅前支店閉鎖後はどうなるのか。また、秦野駅前農協ビルの利用状況は。（大根・本町・南・北・西）

対応 コンビニエンスストアのデイリーヤマザキに賃貸し、10月25日にオープンしました。店内には地場産の野菜コーナーも設置しています。

来年の2月21日に閉店する秦野駅前支店の跡は、㈱協同コンサルトはだのの事務所が移転し、2階は新たにテナントを募集していく予定です。なお、秦野駅前農協ビルの3階以上は、市などに賃貸しています。

企画

近隣JAとの事業連携視野に

意見 今の経済情勢を考えると、合併して規模拡大をしていかなくてはいけないと思うが、県下の情勢やJAはだのの予定はどうか。随時、情報提供をしてほしい。また、合併したら細やかなサービスが難しくなりそうだがメリット・デメリットはどうか。（大根・南・北・西）

対応 隣JAが持つ選果場などの施設の共同利用による連携を検討しています。合併によるメリット・デメリットを総合的に検討し、今後も身近なJAで在り続けられるよう取り組んでいきます。

意見 被害が大きいが、JAは被災地の農家支援に行っているのか。（西）

対応 職員派遣や物資の不足などについて要請があれば、JA神奈川県中央会を通じて対応している状況です。職員の派遣については、現地での受け入れ体制の面で難しい場合もあるようです。過去には募金や職員の派遣、被災地の農産物をじばさんずで取り寄せて販売するなどの支援をした経過があります。

今年の台風などによる被災地にも中央会を通じた募金活動により支援を行っています。

監査

会計監査人を設置

意見 JA全中が9月末に一般社団法人になり、またJA神奈川県中央会が連合会に移行されたが、JAの監査はどうなったのか。（西）

対応 改正農協法により組織変更が行われ、JA全国監査機構は廃止となり、貯金200億円以上のJA・信連と負債200億円以上の連合会は会計監査人を設置することになりました。当JAの会計監査人は、みのり監査法人が総会で選任されています。今後は、会計監査人が財務諸表（計算書類および附属明細書）を監査し、それ以外の事業報告およびその附属明細書については、監事監査人が監査し、会計監査人の監査結果を相当と認めるかどうかを表明することとなります。

㈱協同コンサルトはだの

台風被害の修理相談も対応

意見 生活物資の取扱高が増加しているが、アパートによるものか。また、何室増加したのか。（大根・本町）

対応 ㈱協同コンサルトはだのによる施設事業取扱高が、消費税増税前の駆け込み需要により増加したことが要因です。共同住宅は上半期8棟38室増加し、個人住宅建設や営繕（リフォーム）の実績も含まれています。

意見 台風被害に遭った時、修理業者を案内してほしい。（南）

対応 修理業者を案内していますので、各支所・支店および㈱協同コンサルトはだのへお気軽にご相談ください。

店舗販売
庭先集荷の本格実施に向け検討

多くの来店者でにぎわうじばさんず

意見　庭先集荷が試験的に始まったが、内容を教えてほしい。（大根・西）

対応　農産物の買い取り拡大を図るとともに、じばさんずの午後の品ぞろえ対策、出荷者の追加搬入の労力軽減を目的に、9月から試験集荷を始めています。じばさんずから距離がある大根・鶴巻地区と、出荷グループがある峠地区が対象です。

集荷日は月・水・金曜日で、当日午前8時30分までに集荷依頼を受け、原則午前11時から午後1時の間に、物流センターの職員が集荷に伺います。

集荷に伴う手数料は、委託手数料15％に加えて10％の手数料が掛かります。2020年度の本格実施に向け、試験集荷の期間に課題を洗い出し、検討を進めていきます。

意見　消費税増税に伴い、じばさんず出荷者や店内商品などの価格にどのような影響が出るのか。（東・西・上）

対応　消費税の増税に伴い、出荷者に向けて増税および軽減税率の概要や注意点などの説明会を9月に3回開催し、周知に努めました。また、税率変更が必要な生産者に事前対応をお願いしました。その結果、大きな影響を受けずに営業を継続できました。

店内の商品については、軽減税率8％対象商品（野菜・果物・加工食品など）と、標準税率10％対象商品（酒・切り花・鉢物・民芸品など）に区分し、販売および精算を行っています。対象品目ごとに税率変更されているので、日々、出荷者が行う特別な作業はありません。

意見　じばさんずの改装について、具体的な内容はどうなっているのか。大型バスでの立ち寄りも目にするが、トイレの数が足りていないようだ。（大根・本町・西・上）

対応　道の駅などで施工実績のある業者と設計管理等業務委託契約を締結し、改装に向けて取り組みを進めています。10月に利用者アンケートを行い、ニーズを整理しました。11月以降は、利用者ニーズを踏まえ、什器（じゅうき）・内装およびトイレ改修工事の設計を行って、2020年1月以降に着工し、3月に完了する予定です。

トイレ改修工事については、現状の場所のまま改修するため、個室数の大幅な増加は困難ですが、清潔感のあるトイレになるよう改修業者に要望しています。

生産資材
仕入れ強化し安価に提供

意見　農薬の予約注文の方法を考え直してほしい。大量に購入すると期限切れなどの保管・管理が大変になってしまう。（本町）

対応　予約注文で取りまとめをすることにより、安価で提供できるように努めています。さらに、店舗で年間キャンペーン商品を設定し、水稲除草剤は6月にキャンペーンを実施しています。今後も仕入れ強化に努め、店舗での価格に反映させていきます。また、農薬の保管・管理は、保管庫に施錠するなど十分な注意が必要になりますので、ご理解ください。

意見　イノシシ対策として「イノシシびっくり」を購入したが、音に慣れたのか田んぼに侵入されてしまった。また、電池での対応のため手間が掛かる。ソーラー式などはないのか。（東・北）

対応　9月から新たにＪＡグリーンで販売を開始した「イノシシびっくり」は、富山県、福島県、広島県などで販売したところ被害が激減したと聞いています。ＪＡグリーンでもサンプルを貸し出し、効果があるとのご意見もいただいています。今後も効果などを確認した上で、取り扱いを拡大していく予定です。種類としては乾電池式タイプのみとなっていますので、ご理解ください。

意見　農機具の修理を依頼すると出張料金が掛かるのか。（西）

対応　農機センターには料金表があり、作業時間などにより技術料が決まっています。農機の技術料は1時間当たり4000円、自宅などへ伺う場合は、小型農機は出張料1回1500円、大型農機は3000円、大型配送は片道2000円です。農機センター入口に料金表を掲示しています。また、生産組合や個人への配送も可能ですので、農機センターへご相談ください。

意見　農機具のレンタルでチッパーの利用状況はどうか。また、他の農機具のレンタルは考えているのか。（大根・東・南・北・西・上）

対応　上半期の利用状況は30件で、講習会受講者数は208人です。チッパー以外のレンタルについては、全国的に農業機械の事故が多く、利用者の安全面、機械の利用マナー、使用時期が重なるなどの課題もあり、当面はチッパーのみの対応としていきます。

経済
パルシステムと事業連携

意見　パルシステムの登録件数250件は女性部員だけの数字か。また、秦野産農畜産物の取り扱いはしているのか。パルシステムの配達はＪＡが行っているのか。ＪＡの組合員に加入した際に出資しているが、パルシステムを利用するのに更に出資しなくてはならないのか。（本町・東）

対応　登録件数は女性部員だけでなく、ＪＡの組合員や職員を含めた件数です。また、パルシステムが秦野産の農畜産物を取り扱う際には、安全性の確保や、質・量の基準を満たす必要があります。今後、取り扱いができるよう協議を継続していきます。

配達はパルシステムが行っていますが、加入手続きなどはＪＡで行っています。パルシステムを利用するには「生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ」の組合員加入が条件となり、出資が必要です。

意見　ＪＡプロパンガスを利用しているが、ガス業者から切り替えの勧誘を受けている。ＪＡのプロパンガス料金は他社より高いのか。（北）

対応　プロパンガス料金の自由化に伴い、さまざまなガス業者が営業活動をしています。しかし、変更契約後の料金トラブルなどの事例もあるため、何かありましたら、経済課へご相談ください。

パルシステムの「プチパーティー」で加入促進

また、プロパンガス料金は、近隣のガス業者と比較しても安価になるよう設定しています。さらに、当ＪＡでは、24時間監視システムキャッチ24」でガス器具などの異常を監視しています。

意見　行政へのガソリン給油を依頼したら、住所、氏名、利用目的を聞かれ身分証明書の提示を求められた。その際、給油担当者から組合員購買カードに変更すれば確認は不要となる話を聞いたが、カードの種類によって対応が違うのか。また、携行缶は一度に何缶まで買えるのか。（大根）

対応　ガソリンの販売について、警察庁、消防庁より注意喚起の指導がありました。携行缶に入れて販売する際には、購入者（販売先）の住所、氏名を身分証明書などで確認し、併せて利用目的を確認することとされています。

現金給油カードには、住所、氏名などの登録がないため、その都度確認が必要です。一方、組合員購買カードは、住所、氏名が登録されているため、利用目的だけ口頭で確認しています。

また、販売できる数量に規制があり、1人に対して1日の販売量は、携行缶2缶（40リットル）までお願いしています。

葬祭
安心して利用できるホール運営を

意見　通夜・告別式を1日で行う葬儀があると聞いたが、いくらでできるのか。（大根）

対応　通夜・告別式を1日で行う葬儀を「一日葬」といいます。1階・2階ホールで58万8000円から、2階小ホールで42万3000円から、安置室でのお別れ式（自宅も対応可）で25万8000円から利用できます（組合員価格・税込み）。

施設・祭壇利用料、ひつぎ、骨壺（こつつぼ）、後飾り一式、霊きゅうしゃ、遺影写真、ドライアイスを含みます。なお、供物、香典返し、飲食費、搬送費、寺院費用などは含まれていません。

意見　セレモニーホールの取扱高が減少している。市内での葬儀件数は減っているのか。また、地域情報紙などの紙面に広告を掲載し、一般の人向けにもPRした方が良い。（西）

対応　市内での葬儀施行件数の絶対数は把握できませんが、3月から9月末までの死亡届件数は昨年度861件、今年度853件で、若干減少しています。

また、ＪＡの事業であることから一般の方へ向けた広告ができないということもあります。今後も皆さまに安心してご利用いただけるホール運営に努めます。

信用
定期貯金で農業を応援

意見　団体名義の貯金について、データを整備しているようだが、内容を教えてほしい。（西）

対応　貯金保険事故発生時（ペイオフ）に備え、近年、貯金保険機構から金融機関に対して、貯金保険法に基づいた貯金者データの厳格な整備が、強く求められています。新規登録時だけでなく、既存の団体名義の貯金も整備の対象で、規約や定款の提出などを依頼しています。

ＪＡの口座で取ると、どのようなメリットがあるのか。（西）

対応　金利優遇のあるＪＡマル得定期貯金の利用、誕生日プレゼントの進呈、年金旅行（有料）への参加、現金自動預払機（ＡＴＭ）の入出金手数料のキャッシュバック（月に3回分が上限）があります。

意見　貯金の内容を教えてほしい。（大根・東・南・北）

対応　農業応援定期貯金の利用、農業生産の拡大に寄与することを目的とした定期貯金です。1口50万円で、預け入れ限度はありません。50万円の預け入れで500円分（0・1％相当）の専用くみあい利用券を進呈します（1人上限1000円分まで）。

この専用くみあい利用券は、農畜産物や農産加工品の購入の際に使えるもので、じばさんず・特産センターをはじめ、各直売グループ運営の直売所を含め全7カ所で使用できます。

また、年度末の本定期貯金総額の0・02％相当額を当ＪＡが農業者の応援（地域農業振興費への充当）などに充てます。貯金者の負担はありません。金利はスーパー定期1年（単利型）の店頭金利で、事業分量配当金の対象外となります。

意見　「定期性期日のご案内」と「定期積金期日のご案内」の発送がなくなるようだが、なぜか。また、法人・団体・マル優の場合はなぜ発送が継続されるのか。（大根・本町・東・西・上）

対応　情報技術（ＩＴ）の普及によるペーパーレス化が進む中、ＪＡバンクは11月18日からＪＡネットバンク契約者を対象に、案内状と同じ内容をＥメールで配信するサービスを開始しました。これに伴い、10月31日作成分をもって案内状の発送を終了しましたので、ご理解をお願いします。

この機会にＪＡネットバンクのご利用をお願いします。契約料は無料です。ご不明な点は各支店へお問い合わせください。

また、法人・団体名義の利用者は税務申告や会計報告などで必要となる他、マル優の貯金者は満期時の利息により預入限度額を超過しないよう管理いただく必要があるため、案内状の発送を継続します。

共済
建物更生共済で台風被害に対応

意見　台風15号による建物被害の状況は。（大根・本町・南・北・西・上）

対応　建物更生共済に加入している物件では、全国で6万4049棟、神奈川県内で8840棟、秦野市内で252棟の被害報告がありました。また、台風19号では全国で3万8743棟、神奈川県内で4043棟、秦野市内で118棟の被害報告が寄せられています（10月31日現在）。台風15号・19号ともに、市内での主な被害は屋根や雨どいの破損でした。

意見　飛ばされてしまった場合、災害対策シートを貸し出してくれるのか。（北）

対応　地域貢献活動の一環として、災害対策シートを無償で貸し出しています。数に限りはありますが、建物更生共済に加入していて台風などで被災された方は、各支所・支店に申し出いただければ貸し出します。

意見　台風で屋根が飛ばされてしまった場合、災害対策シートを貸し出してくれるのか。（北）

対応　ＪＡ共済では自転車損害賠償責任保険などへの加入が義務付けられたが、必ず加入しないといけないのか。（北）

近年、自転車事故の高額賠償事例が増加しているため、ＪＡは、これらの賠償に対応した保険「自転車補償プラン」や「ＪＡ安心倶楽部」への加入をお勧めしています。なお、未加入による罰則はありません。加入を検討される場合は窓口または渉外担当者にご相談ください。

改革推進
正・准組合員一体で農業振興を

意見　自己改革は具体的にどういったものか。また、2019年5月で農協改革集中推進期間が終了したが、5年間を振り返ってどうか。（大根・東・西・上）

対応　「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として、総合事業の展開により、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて取り組んできました。

ＪＡはだのは、全ての部署で目標を掲げて自己改革を実践してきました。

組合員からは、資材の価格引き下げや販路の拡大、地域活動などについて高い評価をいただきました。一方で「今以上に自己改革を進めてほしい」などの声も上がっています。

今後も農業と地域に欠かせない存在で在り続けるとともに、組合員に必要とされるＪＡになるよう、引き続き自己改革を着実に実践します。

意見　准組合員事業利用規制に、どのように対応していくのか。（本所・北）

対応　准組合員の事業利用規制については、正組合員が「准組合員が必要である」と判断すれば良いということです。正組合員には、准組合員が農業経営を継続する上で必要な存在であること、准組合員には、今まで以上に農業や食に対する関心を高めていただくなど、正・准一体となって農業振興を図るために農業協同組合の組合員として役割を果たしていただくよう呼び掛けていきます。

意見　新東名高速道路のサービスエリアなどで地場産野菜を販売する計画はあるのか。売り場を設ければPRにもなり、農業が活性化する。（北・西）

対応　サービスエリア内に出店する場合、24時間営業への対応や高額な賃料、農産物を常時確保できるかなどの課題が多いことから、決定したテナントに、農産物直売コーナーの設置や旬の農産物を臨時的に販売するよう交渉します。飲食店には秦野産の農産物を使っていただくよう、秦野市を通じて中日本高速道路㈱へ要望書を提出しています。今後、具体的な交渉を進めていきたいと考えています。

融資
農業資金の取り組み強化

意見　貸出金残高の資金別の割合を教えてほしい。（西）

対応　貸出金の資金別の割合は、8月末時点で不動産賃貸資金などの事業資金54・6％、住宅資金42％、農業資金1・7％、生活資金0・8％、公共資金0・3％、その他資金0・3％、当座貸越0・2％です。農業資金は小口資金が多いため割合は少ないですが、取り組み強化の結果、件数は増加しています。利子補給や保証料の助成などもありますので、ぜひご利用ください。

生活福祉
健康寿命100歳プロジェクト展開

じゃんけんゲームで交流（お茶飲み交流会）

意見　ＪＡの健康福祉の取り組みとして「ＪＡ健康寿命100歳プロジェクトの展開」とはどのような内容か。（南・西）

対応　「ＪＡ健康寿命100歳プロジェクト」は、心身にわたる健康寿命を延ばそうという趣旨で、健康診断の受診呼び掛けやスポーツ大会、趣味グループ活動などを通じて、高齢者の仲間づくり、生きがいづくりを支えています。

意見　ＪＡのお茶飲み交流会に参加し、とても楽しかった。（上）

対応　年1回、各支所で開催しています。女性部が手作りの昼食やレクリエーションを企画して、楽しく1日を過ごしていただけるように考えています。ぜひ、誘い合ってご参加ください。

意見　女性部のサポーターとはどのような人たちなのか。（西）

対応　2017年度に運営委員（サポーター）制度を始めました。役員の負担軽減と組織の活性化を目的に、運営委員会への参加を広く部員に呼び掛けています。料理・運動会・農業まつり・保育ボランティア・大豆プロジェクトの五つの運営委員会に加え、今年度は体操と音頭を普及する運営委員会が発足しました。ぜひ、運営委員に加わり活動を盛り上げてください。